

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年4月14日
【四半期会計期間】	第109期第3四半期（自 2019年12月1日 至 2020年2月29日）
【会社名】	小津産業株式会社
【英訳名】	OZU CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 今枝 英治
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋本町三丁目6番2号
【電話番号】	03(3661)9400
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 稲葉 敏和
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋本町三丁目6番2号
【電話番号】	03(3661)9400
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 稲葉 敏和
【縦覧に供する場所】	小津産業株式会社大阪支店 （大阪府大阪市中央区瓦町二丁目3番10号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第108期 第3四半期 連結累計期間	第109期 第3四半期 連結累計期間	第108期
会計期間	自2018年6月1日 至2019年2月28日	自2019年6月1日 至2020年2月29日	自2018年6月1日 至2019年5月31日
売上高 (千円)	30,855,479	29,864,809	41,081,705
経常利益 (千円)	562,970	418,733	656,826
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	348,044	447,810	430,572
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	516,161	726,243	784,611
純資産額 (千円)	14,406,827	14,718,888	14,138,378
総資産額 (千円)	23,181,619	24,028,340	22,562,916
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	41.59	53.47	51.45
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	62.1	61.2	62.6

回次	第108期 第3四半期 連結会計期間	第109期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自2018年12月1日 至2019年2月28日	自2019年12月1日 至2020年2月29日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	8.96	37.26

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間（2019年6月1日～2020年2月29日）の業績は、売上高298億64百万円（前年同期比3.2%減）、経常利益4億18百万円（前年同期比25.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億47百万円（前年同期比28.7%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の状況は以下のとおりであります。

（不織布事業）

エレクトロニクス分野では、新型コロナウイルス感染症の影響により、クリーンルーム用マスクの急激な需要増があったものの、主に中国および東南アジア地域における半導体・電子部品メーカーの稼働率低下の影響により、売上高、利益面ともに前年同期を下回りました。

メディカル分野では、新型コロナウイルス感染症の影響により、衛生用品の販売が増加するなど、概ね堅調に推移したことにより、売上高、利益面ともに前年同期を上回りました。

コスメティック分野では、東アジア市場向けおよび国内向けの販売が減少した影響により、売上高、利益面ともに前年同期を下回りました。

小津（上海）貿易有限公司では、エレクトロニクス分野向け以外の販売が復調傾向にあるため、売上高、利益面ともに前年同期を上回りました。

ウェットティッシュ等の製造販売を営む株式会社ディプロでは、売上高が前年同期を上回りましたが、材料費増加等の影響により、利益面では下回りました。

アグリ分野を担う日本プラントシーダー株式会社では、海外および九州地区における販売が減少した影響により、売上高、利益面ともに前年同期を下回りました。

これらの結果、売上高は98億67百万円（前年同期比13.4%減）、セグメント利益は3億70百万円（前年同期比41.9%減）となりました。

（家庭紙・日用雑貨事業）

当事業を担うアズフィット株式会社につきましては、前年同期と比べ売上高が微増となり、利益面でも損失幅が縮小しました。

この結果、売上高は199億4百万円（前年同期比2.7%増）、セグメント損失は45百万円（前年同期はセグメント損失1億30百万円）となりました。

（その他の事業）

その他の事業（除菌関連事業および不動産賃貸業）につきましては、売上高は92百万円（前年同期比10.1%増）、セグメント利益は35百万円（前年同期はセグメント損失1百万円）となりました。

（注）日本プラントシーダー株式会社およびアズフィット株式会社の決算期は2月末日のため、当第3四半期連結累計期間には各社の2019年3月から2019年11月の実績が、株式会社ディプロおよびエンピロテックジャパン株式会社の決算期は3月末日のため、当第3四半期連結累計期間には各社の2019年4月から2019年12月の実績が反映されております。

(2) 財政状態の分析

(資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べて14億65百万円増加し、240億28百万円となりました。主な要因は、「受取手形及び売掛金」の増加11億61百万円、「建設仮勘定」の増加9億3百万円、「投資有価証券」の増加4億8百万円、「現金及び預金」の減少9億80百万円であります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて8億84百万円増加し、93億9百万円となりました。主な要因は、「支払手形及び買掛金」の増加4億99百万円、「短期借入金」の増加1億80百万円、「繰延税金負債」の増加1億35百万円であります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて5億80百万円増加し、147億18百万円となりました。主な要因は、「利益剰余金」の増加2億88百万円、「その他有価証券評価差額金」の増加2億78百万円であります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、25百万円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループ全体の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定及び締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,000,000
計	25,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年2月29日)	提出日現在発行数(株) (2020年4月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,435,225	8,435,225	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	8,435,225	8,435,225	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式総 数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年12月1日～ 2020年2月29日	-	8,435	-	1,322,214	-	1,374,758

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年11月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年2月29日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 57,200	-	単元株式数 100株
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,372,300	83,723	同上
単元未満株式	普通株式 5,725	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	8,435,225	-	-
総株主の議決権	-	83,723	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の中には、証券保管振替機構名義の株式が100株(議決権の数1個)含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数1個が含まれております。

【自己株式等】

2020年2月29日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
小津産業株式会社	東京都中央区日本橋本町三丁目6番2号	57,200	-	57,200	0.68
計	-	57,200	-	57,200	0.68

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年12月1日から2020年2月29日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年6月1日から2020年2月29日まで）に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,766,637	3,786,010
受取手形及び売掛金	6,333,386	7,494,644
商品及び製品	1,706,641	2,008,591
原材料	562,299	583,797
その他	617,944	380,888
貸倒引当金	604	348
流動資産合計	13,986,305	14,253,584
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,146,686	4,897,717
減価償却累計額	3,472,786	3,413,310
建物及び構築物(純額)	1,673,900	1,484,407
機械装置及び運搬具	1,654,407	1,760,749
減価償却累計額	1,325,636	1,348,162
機械装置及び運搬具(純額)	328,770	412,586
土地	1,634,506	1,629,379
リース資産	28,490	-
減価償却累計額	26,984	-
リース資産(純額)	1,505	-
その他	367,517	344,754
減価償却累計額	339,269	319,850
その他(純額)	28,248	24,904
建設仮勘定	878,204	1,781,912
有形固定資産合計	4,545,136	5,333,189
無形固定資産		
その他	38,000	43,201
無形固定資産合計	38,000	43,201
投資その他の資産		
投資有価証券	3,413,630	3,821,833
長期貸付金	57,584	56,622
繰延税金資産	26,658	28,144
その他	507,013	501,729
貸倒引当金	11,412	9,965
投資その他の資産合計	3,993,473	4,398,364
固定資産合計	8,576,610	9,774,756
資産合計	22,562,916	24,028,340

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,831,693	4,331,217
短期借入金	1,470,000	1,650,000
1年内返済予定の長期借入金	20,000	-
リース債務	1,618	-
未払法人税等	72,869	107,288
賞与引当金	44,833	57,911
その他	795,245	781,151
流動負債合計	6,236,260	6,927,568
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	800,000	850,000
繰延税金負債	628,571	764,101
退職給付に係る負債	166,129	173,150
その他	93,575	94,632
固定負債合計	2,188,276	2,381,883
負債合計	8,424,537	9,309,452
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,322,214	1,322,214
資本剰余金	1,380,514	1,385,463
利益剰余金	10,037,914	10,326,679
自己株式	76,083	67,719
株主資本合計	12,664,559	12,966,637
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,464,245	1,742,410
為替換算調整勘定	2,351	3,117
その他の包括利益累計額合計	1,461,893	1,739,292
非支配株主持分	11,925	12,958
純資産合計	14,138,378	14,718,888
負債純資産合計	22,562,916	24,028,340

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
売上高	30,855,479	29,864,809
売上原価	26,318,866	25,391,605
売上総利益	4,536,612	4,473,204
販売費及び一般管理費	4,029,698	4,111,693
営業利益	506,913	361,510
営業外収益		
受取利息	2,614	2,662
受取配当金	59,326	62,490
その他	17,744	14,253
営業外収益合計	79,685	79,407
営業外費用		
支払利息	10,257	10,258
売上割引	2,631	2,243
持分法による投資損失	158	2,999
為替差損	7,076	5,311
その他	3,504	1,372
営業外費用合計	23,628	22,185
経常利益	562,970	418,733
特別利益		
固定資産売却益	-	246,464
投資有価証券売却益	0	38
ゴルフ会員権売却益	-	1,100
特別利益合計	0	247,603
特別損失		
固定資産除却損	1,152	3,799
その他	113	-
特別損失合計	1,266	3,799
税金等調整前四半期純利益	561,704	662,536
法人税、住民税及び事業税	183,099	205,619
法人税等調整額	46,292	8,072
法人税等合計	229,391	213,692
四半期純利益	332,313	448,844
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失()	15,731	1,033
親会社株主に帰属する四半期純利益	348,044	447,810

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益	332,313	448,844
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	847,143	278,164
為替換算調整勘定	1,331	765
その他の包括利益合計	848,474	277,399
四半期包括利益	516,161	726,243
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	500,430	725,210
非支配株主に係る四半期包括利益	15,731	1,033

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

当第3四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第3四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
受取手形	19,945千円	115,340千円
支払手形	-	30,272

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
減価償却費	222,438千円	192,011千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年8月29日 定時株主総会	普通株式	158,926	19	2018年5月31日	2018年8月30日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年8月28日 定時株主総会	普通株式	159,046	19	2019年5月31日	2019年8月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不織布	家庭紙・ 日用雑貨	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,398,341	19,373,136	30,771,478	84,001	30,855,479	-	30,855,479
セグメント間の内部売上高又は振替高	29,305	6,932	36,237	92,613	128,851	128,851	-
計	11,427,647	19,380,068	30,807,715	176,614	30,984,330	128,851	30,855,479
セグメント利益又は損失()	637,779	130,782	506,997	1,022	505,974	938	506,913

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び除菌関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額938千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不織布	家庭紙・ 日用雑貨	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,867,485	19,904,871	29,772,357	92,452	29,864,809	-	29,864,809
セグメント間の内部売上高又は振替高	31,787	17,679	49,467	93,210	142,677	142,677	-
計	9,899,273	19,922,550	29,821,824	185,662	30,007,487	142,677	29,864,809
セグメント利益又は損失()	370,576	45,390	325,185	35,613	360,799	711	361,510

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び除菌関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額711千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2019年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2020年2月29日)
1株当たり四半期純利益金額	41円59銭	53円47銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	348,044	447,810
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	348,044	447,810
普通株式の期中平均株式数(株)	8,368,031	8,374,808

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

(重要な設備投資)

2020年1月14日開催の当社取締役会で決議された設備投資について、連結子会社であるアズフィット株式会社において、2020年1月29日に以下の設備を取得いたしました。

なお、同社の決算日は2月末日のため、当第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表には反映されておりません。

1. 設備投資の目的

家庭紙・日用雑貨事業の物流設備における収益性の向上を目的としております。

2. 設備投資の内容

- (1)所在地 神奈川県愛甲郡愛川町
- (2)内容 事業用土地
- (3)面積 7,712.09m²
- (4)金額 639,682千円

3. 当該設備が営業・生産活動に及ぼす重要な影響

当連結会計年度の業績に与える影響は軽微であります。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年4月14日

小津産業株式会社

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 永澤 宏一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 水野 友裕 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている小津産業株式会社の2019年6月1日から2020年5月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2019年12月1日から2020年2月29日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年6月1日から2020年2月29日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、小津産業株式会社及び連結子会社の2020年2月29日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。